

第1回 日高川（中上流域）を考える会 議事録（概要版）

日時：平成26年5月27日（火）13:00～14:40

場所：日高農業共済会館 2階会議室



1. 開会

2. 議事内容

- 1) 考える会の設立趣旨・規約について
- 2) 日高川水系河川整備計画（素案）について

3. 審議内容及び決定事項

3.1 設立趣旨・規約の承認

日高川（中上流域）を考える会設立趣旨・規約について、事務局から説明を行い、委員

の承認を得た。

3.2 日高川水系河川整備計画(素案)について

日高川水系河川整備基本方針及び日高川水系河川整備計画(素案)について事務局から説明。

説明に対する委員からの主な意見・質問は以下のとおり。

〈主な意見・質問〉

◆龍神の奥で龍神スカイラインの工事残土が全部流されており、その影響で椿山ダムがいつまでも濁った状態になっている。一度確認していただきたい。(委員)

→現状把握のために、現地確認します。(事務局)

◆日高川で工事の際に岩盤を割ったり、砂や小砂利を撤去しても構わないが、大きな玉石ばかりをとられると魚の逃げ場所がなくなり魚が生育しない。工事の際に配慮してほしい。(委員)

→魚の生息等に対して、工事で配慮できる場所について、意見をいただきながら調整したい。(事務局)

◆堂閉川は、御坊市と日高川町の行政区にまたがる河川で、これまで浸水対策が進まなかった。県が調整役に入っていただき、良案を提案していただきたい。(委員)

→堂閉川は西川、斉川、北吉田川の水位の影響を受ける河川で、以前から課題であると認識している。対策案については、次回の考える会で説明します。(事務局)

◆椿山ダムの事前放流で治水機能向上を図るということであるが、地方紙に12号台風では事前放流しても同じ被害が発生したと載っていたが、どういうことか。(委員)

→次回の考える会で説明します。(事務局)

◆台風12号で日高川と野々川の合流点では今でも土砂等が堆積している。土砂堆積問題について解決してほしい。(委員)

→現地を一度確認して次回の考える会で説明します。(事務局)

◆水位表示をつけてくれているが、その表示は海拔表示か。また、量水標の水位と地元の堤防高との関係について分かりやすくしてほしい。(委員)

→水位表示のゼロ点は海拔ではなく、概ね河床付近としている。量水標の水位とお住まいの地区の堤防高との関係は計算上出せるが、一般的に公表していない。出水時に水位のデータをインターネットやテレビのデータ放送で確認できるようになっているので、

近傍の水位と堤防高の関係を日頃から確認する等して自ら判断していただけるとありがたい。(事務局)

◆ある程度関心を持って地区の堤防高と水位の関係を確認する必要があり、およそその関係が分かっても、他の人に引き継ぐのは難しい。水位表示板に、例えば一番超えやすい地点の堤防高を目印する等うまい表示方法はないか。(委員)

→今後も勉強させていただきます。(事務局)

◆龍神村はかつて日高郡であり日高振興局管轄であったが、田辺市と合併して西牟婁振興局管轄になっている。日高振興局と西牟婁振興局の両方が連携していただきたい。(委員)

→本日も西牟婁振興局の担当者が同席しています。(事務局)

◆土地改良区でポンプ取水をしているが、平成7、8年頃から河床低下が進行し取水が困難となっている。現在、補助ポンプで吸い上げているが今後の河床低下が進めば、水がとれない可能性がある。これについて検討していただきたい。(委員)

→本川における改修計画については、次回考える会で説明します。(事務局)

◆日高川右岸側(小熊地区)の洗掘対策について、根固め対策してくれると回答いただいているが、被害が大きくなる前に計画的に対策を進めていただきたい。(委員)

→現地で洗掘状況を確認しているので、維持管理の中で対応していきたい。(事務局)

◆この会の今後の予定は。(委員)

→次回の考える会で具体的な整備目標、整備内容を説明します。(事務局)

3.3 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて事務局から説明。

4. 閉会